

# 神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490  
FAX (078) 361-4539  
http://nssk-kobeshoten.org/ 口座振替 01110-2-10517

### 今年の標語

「来てみませんか」と誘える教会を目指そう。

### 努力目標

- 礼拝出席に努めよう。
- み言葉を分かち合おう。
- 地域との交流促進。

### 聖語

いつも喜んでいなさい。  
絶えず祈りなさい。  
どんなことにも感謝しなさい。

(1テサロニケ 5:16-18)

わか

## 汝の少き日に、汝の造り主を覚えよ

青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。苦しみの日々が来ないうちに。「年を重ねることに喜びはない」と言う年齢にならないうちに。

(コヘレトの言葉12章1節)

司祭 ミカエル 小南 晃

7月に入り、いよいよ盛夏を迎えようとしています。草木は青々と茂り、多くの生き物がその生命を謳歌する季節です。そしてもし人生を四季で表すなら、夏はまさに青春時代ではないでしょうか。

「若者」また「青春時代」に向けられた聖書の有名な言葉としては、表題の「汝の少き日に、汝の造り主を覚えよ」と言う言葉があります。その下に引用したコヘレトの言葉12章1節の文語訳です。

「コヘレト」とはヘブライ語で、人々に語り掛けるために「集会を集める人」という意味だそうです。以前は「伝道者」と訳され、この書物も「伝道の書」と呼ばれていました。伝統的にはソロモン王が著したとされています。

◇ ◇ ◇

「汝の少き日に、汝の造り主を覚えよ」、「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ」とは、「若いうちに神様を信じなさい」ということになるでしょう。

ともすれば神様、仏様を信じるというと年寄り臭いことと思いがちです。しかしこの世の人生の終りに穏やかに信仰や信心を保てることは幸せなことであり、この教

えはそうした落ち着いた信仰を晩年になって確かに保てることにも関わるものです。

コヘレト(伝道者)は、この節の直前で「若者よ、お前の若さを喜ぶがよい。青年時代を楽しく過ごせ。心に適う道を、目に映るところに従って行け」と語っています。若いうちに大いに青春時代を謳歌しなさいということになります。しかし同時に「知っておくがよい。神はすべてについてお前を裁きの場に連れていくことを」という警告も告げています。即ち、そうした青春の謳歌がともすれば、若気の至りとして、その後の痛みの原因になり得るということです。

◇ ◇ ◇

友情や恋愛などで時に人を傷つけ、傷つけられるのも、青春時代に起りがちなことです。そこで大切なことは「どう生きるべきかを真剣に問いながら生きる」ということです。若さ、青春という一度過ぎてしまえばもどらない恵みの時にこそ「神の存在に目を向けなさい」ということです。

キリスト教は神を信じるのに遅すぎることはない、悔い改めるのに遅すぎることはないことを聖書

の各所で教えています。しかしこれは遅すぎることはないのなら、今は信じなくても大丈夫ということでは決してありません。神のみに適う生き方に早く歩み出すことが幸せであることは明らかです。

しばしば若い人の悩みとして「生きる意味が解らない」ということが言われます。その悩みが深い場合、時に自ら命を絶ってしまう悲劇も生じます。またこうした悩みは逆境の時に陥りがちです。苛め、失恋や友情の破たん、家庭内の不和また難病など、それらは大変辛いものです。しかしそうした試練に遭う時に、尚、一人ひとは確かに生きる意味が与えられている、それを知る道が神を求めることと言ってよいでしょう。

◇ ◇ ◇

若い時代は素晴らしいものです。しかしそれはいつか過ぎ去り、体力、気力、知力の衰えに直面しなければならぬ時がきます。その時を「年を重ねることに喜びはない」と悲嘆に暮れながら迎えるのか、どのような境遇や状態にあるとも、神が愛して下さっているという喜びと永遠の命への希望に根ざして迎えることが出来るかで大きく違ってくるでしょう。

そして神様を信じるのに遅すぎるということはありません。

だからこそどの年齢からでも、そこを基点にして「汝の少き日に、汝の造り主を覚えよ」の言葉を聞き取って参りましょう。

### 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
" 9時15分 教会学校  
" 10時30分 聖餐式・説教  
午後5時 夕の礼拝

水 午前10時30分 聖書研究会  
土 午前10時30分 教会掃除  
(ご奉仕をお願いします)